１級面接試験対策　年内に気づきを促すことを実現させる本ケースロープレ１日２回戦　東京

合格応援プライス

1 日 2 回のロープレで、事例相談者に「気づき」を促し、目標に合意してもらうことの、成功体験をしていただきます。						
東京	2026 年 12 月 26 日(土)	会場:全労連会館　御茶ノ水	9:30～16:30	受講料(税込)	会員:~~20,000 円~~ 12,000 円	一般:~~25,000 円~~ 15,000 円
特長	・講座でのロープレは第 16 回本試験のケースを使い、講師が事例相談者を演じます。 ・この講座は、午前と午後に、1 人 1 回ずつご希望のケースでロープレを体験します(2 回目は違うケースでも、同じケースを極めてもよいです) ・1 級面接試験では、事例相談者に「教える」のではなく「気づきを促す」ことが重要なことですが、実際には難しく、多くの受検者が悩むところです。 ・多くの受検者は、事例相談者の話を要約した後で、事例相談者の技法上の問題の「見立て」に迷いが生じ、面談の方向性が見えなくなってしまいます。合格のためには、事例指導者視点の見立てを判断し、それに「気づきを促し、事例指導者視点の問題把握」を明確にする必要があります。 ・必ず気づきを促すこと(質問や承認など)にトライするために、まずは午前中のロープレで、要約後に「気づき」を促すことを1つでも入れることを目指します。 午後のロープレは、気づきを促した後に、目標の合意を得て、方策の実行まで進めて完成に近づけます。 ・講師は、面談の流れを中心に、「見立て」と「気づきの促し」、「目標設定と合意」、「方策の実行」についてアドバイスを差し上げます。 ・受講者は、試験官として他の受講者のロープレを閲覧できるので、自分のやり方と比較しながら臨場感あふれる体験ができます ・第 16 回の本試験ケースを使い、30 分のロープレで方策まで進めていく体験をしていただき、面談のプロセス全体を完成させます。					
	・講師とのロープレは、本試験のケースの見立てと対処法などを理解するとともに、自身の面談状態を客観視することができるようになります。 ・30 分の面接試験で「意識すること」や「出来ていることとできないでいること」を識別し、さらには、ご自分の「クセや偏り」を一般化して理解します。					
午前と午後で、グループのメンバーも変更しまずので、毎回違う人のロープレを見ることが出来ます。年内に、30 分のロープレのコツを掴んでください						